

令和 4 年度 家族支援事業

<ペアレントメンター事業>

ペアレントメンター・地域サポーター養成研修会

ペアレントメンターとは、自らも発達障害のある子の子育てを経験し、かつ相談支援に関する一斉のトレーニングを受けた保護者をさす。年間3名の修了者養成を目標に実施。

【令和 4 年度までの取り組み】

令和4年度のペアレントメンター研修修了者は4名。平成22年度からの通算は実人数計90名となった。
また、静岡県独自の事業として支援者にも同じ研修を受け、地域の家族支援を担う方として「地域サポーター」も養成している。今年度地域サポーター研修を修了したのは26名。地域サポーターは平成26年度から修了証書を発行しており、今年度までの通算は160名。

【令和 4 年度の課題・評価】

課題:毎年「全6回を継続して受講するのが難しい」という声が多い。過去3年以内の受講による合算も可とするなど配慮を行っている。

評価:上記の通り、例年通りペアレントメンターを3名以上養成しており、順調と言える。

【令和 5 年度取り組み】

今年度は7月～12月に全6回を開催予定。また、修了者向けのアドバンス講座も計画中。

ペアレントメンター派遣

【令和 4 年度までの取り組み】 延べ派遣回数 計 74 回
延べ派遣人数 193 名（打ち合わせ・事例検討会等も含む）

<主な派遣先>

- ・子育て支援センター親子遊びの会・園学校保護者会・放デイ保護者会
- ・きらり主催茶話会・個別相談
- ・親の会主催の相談会
- ・令和4年度の新たな取り組み(リソースブック(小冊子)第1巻発行 0歳～18歳)



Webからも閲覧可能。↑

【令和 4 年度の課題・評価】

課題:家庭や仕事の事情で活動に参加できないペアレントメンターが多く、一部のペアレントメンターに負担がかかりやすいため、今後はハンドブックの原稿依頼などできる範囲での活動参加を予定している。

評価:派遣当初はきらり主催事業への派遣が多かったが、最近では他機関からの継続した依頼が増えており、順調といえる。地域サポーターはすでに勤務先で家族支援にあたっているため、当センター事業への直接参加はないが、保護者研修等にメンター派遣を依頼するなど、ペアレントメンターの有効性を理解して支援に活かすことを行っている。

【令和 5 年度取り組み】 リソースブックの第2巻(18歳以上の支援)を発行予定。

<ペアレント・プログラム>

ペアレント・プログラムとは、子育てに難しさを感じている保護者が、子どもの「行動」の客観的な理解の仕方を学び、楽しく子育てに臨む自信を身につけることを目的とした全6回のグループ・プログラムである。

【令和4年度までの取り組み】

当センターでは平成30年度から実施。令和4年度は支援者・保護者ともに集合形式で、1クール6回・事前研修1回(支援者のみ)、計7回のプログラムを2クール行った。保護者は延べ80名、支援者は延べ83名、合計163名が参加。

【令和4年度の課題・評価】

課題:実施には丁寧なフォローと運営側の準備が必須であり、当センター以外での実施が難しい状況が続いていたが、今年度からは認定講師の資格を取った受講者が自身の放デイでペアレント・プログラムを実施するなど広がりを見せている。

評価:初回と最終回にPNPS(親の養育行動を包括的に評価する質問紙)を実施し、その結果参加者全員に「肯定的な関わりが増え、否定的な関わりが減っている」ことが明らかになった。

【令和5年度取り組み】

令和5年度は「ペアレント・プログラム」よりもさらに「応用行動分析(ABA)の考え方をを用いて、子どもの行動を理解し、適切な対応方法を保護者が身につけていく」技法である「ペアレント・トレーニング」も実施する予定。